

# サイバー大学 履修証明プログラム 募集要項 2026年度春学期募集（4月入学）

「履修証明プログラム」とは、学校教育法第105条および学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、社会人を対象として大学が編成する特別の課程です。各プログラムの修了要件を満たした方には、履修証明書および、オープンバッジを交付します。

## 履修証明プログラムの名称：

1. 情報セキュリティ実践プログラム【[実施要領](#)】
2. 地域イノベーター育成プログラム【[実施要領](#)】
3. ITプロジェクトマネージャ養成プログラム【[実施要領](#)】
4. Pythonで始めるプログラミング入門プログラム【[実施要領](#)】
5. PythonによるAI実践プログラム【[実施要領](#)】

各プログラムの目的、科目構成、総時間数、定員、内容、修得できる知識と技術、受講対象者、修了要件、単位の授与の有無、受講料等については、各プログラムの実施要領をご参照ください。構成する授業科目の内容は、別添のシラバスをご覧ください。

## 授業の方法

メディア授業

※ 正規課程の授業科目を履修する学生と合同で授業を運営します。

## 受講に必要な環境：

すべての授業はオンラインで実施するため、パソコンまたはモバイル端末（スマートフォン、タブレットなど）とインターネット環境が必要です。受講時および試験時の本人確認を行うため、パソコンと接続したWebカメラもご用意ください。

詳細：<https://www.cyber-u.ac.jp/qualification/index.html>

## 受講期間：

受講開始から1年以内に受講を完了する必要があります。授業は年2回（春学期：4月～8月、秋学期：10月～2月）開講されています。

2026年度春学期：2026年4月3日正午～2026年8月6日正午まで

## 履修資格：

サイバー大学学則第21条に定める大学入学資格を有する者。かつ社会人等の学生以外の者を対象。

- ※ 上記資格を証明する書類の郵送が別途必要です。
- ※ 既に本学の学生の身分を有する者は申込できません。

#### 実習環境利用料：

一部の科目では外部サービスを使用した実習を行うため、実習利用環境利用料が発生します。詳細は、各プログラムの実施要領に記載されている受講料欄でご確認ください。

#### 修了証明：

修了要件を満たした者には、学校教育法第105条に基づき、修得した知識とスキルを証明する履修証明書（PDF）およびオープンバッジ※を交付します。

- ※ 本バッジは、履修証明プログラムの修了を示すものです。大学正科生に発行するマイクロレデンシャルとは異なりますのでご注意ください。

#### 科目の再履修について：

1 学期目に受講した科目が不合格の場合、該当科目の授業料等を再度納付することで、2 学期目の再履修が可能です。1 学期目に不合格科目がある場合は事務局から再履修のご案内をします。（春学期：9月、秋学期：3月）  
なお、プログラム期間は1年間のため、2学期目の科目が不合格の場合は、再履修は不可となります。

#### 同意事項

本教育プログラム内の履修者には、本学における特別の課程履修生としての身分を与えます。特段の説明がない限り、本学の学則、学生専用システム利用規約、個人情報保護方針およびその他学生に適用される諸規則を準用します。

#### 募集期間：

2026年2月2日（月）～2026年3月1日（日）まで

- ※ 第1回の授業は2026年4月3日（金）正午から開講します。

#### 申込方法：

1. 募集期間内に下記の申込フォームから必要事項を記載し、証明写真をアップロードのうえ、募集期間内にご提出ください。

申込フォーム：<https://survey.zohopublic.com/zs/DqBBUm>



- ※ フォーム申込時に、顔写真データの添付が必要です。あらかじめご準備ください。

2. フォーム提出後、2026年3月30日（火）必着で大学入学資格を証明する書類を郵送して下さい。

提出書類例：高等学校（同等）の卒業証書のコピーまたは卒業証明書  
大学入学資格検定合格の合格証明書 等

書類郵送先：〒813-0017  
福岡県福岡市東区香椎照葉3-2-1  
シーマークビル 3階  
サイバー大学 履修証明プログラム事務局 宛

※ 期日までのご提出が困難な場合は、事務局宛メールにてご連絡下さい。

2026年3月23日（月）までに受入れ可否と受講料等のお振込み方法をメールにてご連絡いたします。所定の期日（申込フォームに記載）までに入金を確認できないときは、受講を停止または申込を取り消す場合があります。

**実施体制：**

産学教育連携部および教務部教務課

**お問合せ：**

ご不明な点がございましたら、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

企業等から団体申込のご希望がありましたら、申込前にメールでお問合せください。

履修証明プログラム事務局 <[r-support@cyber-u.ac.jp](mailto:r-support@cyber-u.ac.jp)>

## 情報セキュリティ実践プログラム実施要領

### 履修証明プログラムの名称

情報セキュリティ実践プログラム

### 目的

この教育プログラムは、学校教育法第105条および同法施行規則第164条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。最新の情報セキュリティ技術とその社会的影響を理解し、実践的な対応力を身に付けることを目的としています。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

### 科目構成

区分	科目名	授業時間
必修	情報セキュリティ応用	30時間
必修	暗号技術と情報セキュリティ	30時間
必修	ネットワーク実践論	30時間
必修	認証システム論	30時間
選択	情報セキュリティ入門	30時間
選択	ネットワーク技術基礎	30時間

※ 選択科目は、必修科目の理解を助けるための基礎的な入門科目です。基礎から体系的に学びたい方に履修を推奨します。

### 総時間数

180時間（必修120時間／選択60時間）

### 定員

30人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

### 内容

この教育プログラムでは、暗号技術の歴史と発展、ネットワークセキュリティ、量子暗号、ブロックチェーン技術、認証システムなどを取り上げます。これにより、通信の暗号化や匿名通信網、サイバー攻撃対策、認証技術の選択と実装方法についての知識を深めます。また、セキュリティ社会制度基盤や関連法規、最新のネットワーク技術の運用効果についても学び、情報セキュリティが社会・経済に与える影響を理解し、適切な対策を講じる能力を養います。

### 修得できる知識と技術

- SSL/TLSの仕組みを理解し、最新攻撃手法への対処法を説明できる。
- RSA暗号の概要を理解し、実際の計算例を交えて説明できる。
- DDoS攻撃や標的型攻撃などの代表的なサイバー攻撃を理解し、それへの対処法を説明できる。

- ブロックチェーン技術の概要を理解し、セキュリティ社会制度基盤への影響を説明できる。
- ネットワークデバイスの基本的な操作方法を理解し、設計や運用における検討事項を説明できる。
- 多様な認証技術の仕組みと特性を理解し、適切な技術を選択できる。

### 受講対象者

1. セキュリティ関連技術やネットワーク技術に興味があり、将来それらの分野で働きたいと考えている方。
2. IT業界で働いているエンジニアやシステム管理者で、セキュリティ対策やネットワーク管理のスキルを向上させたい方。
3. 企業内で情報セキュリティの責任を持つ担当者や管理職で、最新のセキュリティ技術や対策を学び、実務に活かしたい方。

### 修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で60点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

### 単位の授与の有無

なし

※ 単位授与、マイクロクレデンシャル、将来的に学位取得を希望される方は、履修証明プログラムではなく、科目等履修生または正科生にお申込みください。

### 受講料等

必修4科目176,000円、選択1科目につき44,000円。

※ 2学期間に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。

※ 企業等から団体申込等をご希望の方はその旨お知らせください。

## 地域イノベーター育成プログラム実施要領

### 履修証明プログラムの名称

地域イノベーター育成プログラム

### 目的

この教育プログラムは、学校教育法第105条および同法施行規則第164条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。起業から事業運営、マーケティングまでの知識を体系的に学び、地域社会に貢献する能力を身に付けることを目的としています。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

### 科目構成

区分	科目名	授業時間
必修	起業入門	30時間
必修	事業創造詳論	30時間
必修	ビジネスモデル構築論	30時間
必修	地域マーケティング論	30時間
選択	企業経営入門	30時間
選択	マーケティング入門	30時間

※ 選択科目は、必修科目の理解を助けるための基礎的な入門科目です。基礎から体系的に学びたい方に履修を推奨します。

### 総時間数

180時間（必修120時間／選択60時間）

### 定員

30人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

### 内容

この教育プログラムでは、起業の基本知識と必要な資質を学び、ビジネスアイデアから事業立ち上げまでのプロセスを理解します。さらに、成功する事業計画書の作成やビジネスモデルの概念と分類を学び、具体的な企業事例を通じてビジネスプラン作成や事業運営のスキルを習得します。また、日本全国の地域に根ざした商品マーケティングの手法を分析し、成功するための要素や戦略を学びます。これにより、地域に貢献するイノベーターとしての能力を養います。

### 修得できる知識と技術

- 起業家に求められる資質や能力を説明できる。
- 新規事業の構想方法とビジネスプランの作成方法を説明できる。
- 事業計画の構成内容と具体的な記載方法を説明できる。
- ビジネスモデルの基礎知識を身に付け、ビジネスモデルキャンバスを活用でき

る。

- 地域に根ざした商品づくりや街おこしに求められる要素を説明できる。
- マーケティング戦略・戦術に必要なキーワードを理解し、実践に役立つ考察を進めることができる。

### 受講対象者

1. 地方公共団体の職員や地域活性化に関心があり、地域社会の発展に貢献したい方。
2. 起業を目指す方や新規事業の担当で、新しいビジネスを立ち上げたい方。
3. 地域に根ざした商品やサービスのマーケティングに興味があり、地域特有のマーケティング戦略を学びたい方。

### 修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で60点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

### 単位の授与の有無

なし

※ 単位授与、マイクロクレデンシャル、将来的に学位取得を希望される方は、履修証明プログラムではなく、科目等履修生または正科生にお申込みください。

### 受講料等

必修4科目176,000円、選択1科目につき44,000円。

※ 2学期間に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。

※ 企業等から団体申込等をご希望の方はその旨お知らせください。

## ITプロジェクトマネージャ養成プログラム実施要領

### 履修証明プログラムの名称

ITプロジェクトマネージャ養成プログラム

### 目的

この教育プログラムは、学校教育法第105条および同法施行規則第164条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。ITプロジェクトマネジメントの基礎から応用までを体系的に学び、実践的な演習を通じてプロジェクト計画書の作成やシステム開発の全工程を体験し、即戦力となるスキルを習得することを目的としています。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

### 科目構成

区分	科目名	授業時間
必修	ITプロジェクトマネジメント講義	30時間
必修	ITプロジェクトマネジメント演習	30時間
選択	プロジェクトマネジメント入門	30時間

※ 選択科目は、必修科目の理解を助けるための基礎的な入門科目です。基礎から体系的に学びたい方に履修を推奨します。

### 総時間数

90時間（必修60時間／選択30時間）

### 定員

30人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

### 内容

この教育プログラムでは、ITプロジェクトマネジメントの基礎から応用までを体系的に学び、実践的な演習を通じてプロジェクト計画書の作成やシステム開発の全工程を体験し、即戦力となるスキルを習得します。

### 修得できる知識と技術

- プロジェクトマネジメントの基本概念と手法を理解し、説明できる。
- ソフトウェア開発工程で求められる要件定義、設計、テスト、運用後のメンテナンスの手順を身につける。
- ケーススタディを通じて、課題抽出、システムソリューション提案、投資対効果の算出、工数計算、WBS作成などの実践的スキルを習得する。
- システム開発プロジェクト計画書を作成し、仮想のシステムを企画書に基づいて実際に作成・評価し、改善計画を立案できる。



### 受講対象者

1. ITプロジェクトの管理手法を基礎から学びたい方。
2. システム開発の全工程を実践的に体験し、即戦力として活躍したい方。
3. プロジェクトマネジメントの知識を深め、キャリアアップを目指す方。
4. プログラムスキルを身に付けており、ITプロジェクトマネジメントの観点からシステム開発を身に付けたい方。

### 修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で60点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

### 単位の授与の有無

なし

※ 単位授与、マイクロクレデンシャル、将来的に学位取得を希望される方は、履修証明プログラムではなく、科目等履修生または正科生にお申込みください。

### 受講料等

必修2科目88,000円、選択1科目44,000円。

※ 2学期間に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。

※ 企業等から団体申込等をご希望の方はその旨お知らせください。

## Pythonで始めるプログラミング入門プログラム実施要領

### 履修証明プログラムの名称

Pythonで始めるプログラミング入門プログラム

### 目的

この教育プログラムは、学校教育法第105条および同法施行規則第164条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。プログラミング初級者を対象とし、Pythonの基礎から応用までを学び、データ解析やWeb開発、AI実装など多岐にわたる分野で活用できる実践的なスキルを習得します。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

### 科目構成

区分	科目名	授業時間
必修	プログラミング入門	30時間
必修	Pythonプログラミング入門	30時間

### 総時間数

60時間

### 定員

30人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

### 内容

この教育プログラムでは、プログラミング初級者を対象とし、Pythonの基礎から応用までを学び、データ解析やWeb開発、AI実装など多岐にわたる分野で活用できる実践的なスキルを習得します。

### 修得できる知識と技術

- Pythonの基本構文を理解し、実際にコードを記述できる。
- ファイル操作やデータ処理、エラー処理などの実践的技術を習得できる。
- ライブラリを活用し、データ解析やグラフ描画を行える。
- 自動化スクリプトや基本的なWebアプリケーションを開発できる。
- AIや機械学習の初歩的な実装をPythonで行える。

### 受講対象者

1. プログラミング初心者で、Pythonを基礎から学びたい方。
2. 業務でのデータ処理や自動化スクリプト作成に興味がある方。
3. AIやデータ解析、Web開発に関心があり、その基盤となるスキルを身につけたい方。

### 修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で60点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

### 単位の授与の有無

なし

※ 単位授与、マイクロクレデンシャル、将来的に学位取得を希望される方は、履修証明プログラムではなく、科目等履修生または正科生にお申込みください。

### 受講料等

必修2科目95,800円。

- ※ 上記金額に実習環境利用料（プログラミング入門：3,000円、Pythonプログラミング入門：4,800円）が含まれます。
- ※ 2学期間に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。
- ※ 企業等から団体申込等をご希望の方はその旨お知らせください。

## PythonによるAI実践プログラム実施要領

### 履修証明プログラムの名称

PythonによるAI実践プログラム

### 目的

この教育プログラムは、学校教育法第105条および同法施行規則第164条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。PythonによるAIシステム開発に必要な技術や手法を実践的に学びます。ビジネスシーンで求められるAI技術を習得し、次世代のイノベーションを牽引する力を身につけます。Pythonの入門科目も選択可能なため、初心者にも安心です。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

### 科目構成

区分	科目名	授業時間
必修	Pythonプログラミング実践	30時間
必修	AIプログラミング	30時間
選択	Pythonプログラミング入門	30時間

※ 選択科目は、必修科目の理解を助けるための基礎的な入門科目です。基礎から体系的に学びたい方に履修を推奨します。

### 総時間数

90時間（必修60時間／選択30時間）

### 定員

30人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

### 内容

この教育プログラムでは、PythonによるAIシステム開発に必要な技術や手法を実践的に学びます。ビジネスシーンで求められるAI技術を習得し、次世代のイノベーションを牽引する力を身につけます。Pythonの入門科目も選択可能なため、初心者にも安心です。

### 修得できる知識と技術

- Pythonによる実践的なプログラミングができる。
- Pythonの応用知識として、ライブラリを活用したデータベース操作、画像処理、機械学習などを実践できる。
- AIシステム開発に必要なアルゴリズムとモデルを構築する技術を身に付けることができる。

### 受講対象者

1. Pythonの基礎は理解していて、より実践的なAI技術を学びたい方。
2. ビジネスシーンでAIの導入や活用を目指すプロフェッショナル
3. 技術革新をけん引し、システム開発で新しい価値を生み出したい方。
4. 初心者から始めて、段階的に専門技術を身に付けたい方。

### 修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で60点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

### 単位の授与の有無

なし

※ 単位授与、マイクロクレデンシャル、将来的に学位取得を希望される方は、履修証明プログラムではなく、科目等履修生または正科生にお申込みください。

### 受講料等

必修2科目91,000円、選択1科目48,800円。

※ 上記金額に実習環境利用料（AIプログラミング：3,000円、Pythonプログラミング入門：4,800円）が含まれます。

※ 2学期間に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。

※ 企業等から団体申込等をご希望の方はその旨お知らせください。